

東九州メディカルバレー構想推進大会

**～アジアに貢献する医療関連産業の拠点づくり～**

～　アジアに貢献する医療関連産業の拠点づくり　～

大分県から宮崎県に広がる東九州地域には、旭化成メディカル(株)、メディキット(株)等、血液・血管関連の医療機器メーカーの生産拠点が立地しており、血液・血管関連の医療機器産業では世界有数の開発･生産拠点となっています。こうした医療機器産業の集積の下、平成２２年１０月には、両県の産学官が共同して「東九州メディカルバレー構想」を策定し、半導体や自動車、精密機器等の産業集積により蓄積された技術基盤、大学の研究開発･人材育成など、地域の持つ特長を医療分野に活かす取組を進めています。平成２３年に指定を受けた国の「地域活性化総合特区」については、平成２９年３月に再認定を受け、看護・介護・福祉機器分野も含めた裾野の広い医療関連産業のさらなる集積を促進しています。

最近では、各メディアに取り上げられるような新たな製品化や、海外へ展開する企業も続き、これから一層の集積が期待されています。

「東九州メディカルバレー構想推進大会」では、本構想の目的や取組を県内外に向けて広く情報発信することを目的に毎年開催しており、本年度は下記のとおり開催しますのでお知らせします。

県民の皆様をはじめ、医療関係者、医療関連産業への新規参入、一層の取引拡大を目指す、あるいはご興味を持たれている企業の方々の多数のご参加をお待ちしています。

記

日 　　時　平成３１年２月１２日（火）　１４：３０～１９：３０

場　　　所　レンブラントホテル大分　２階　二豊の間　（大分市田室町9-20 TEL:097-545-1040(代表)）

主　　　催　大分県・大分県医療ロボット・機器産業協議会

共　　　催　大分大学・宮崎県・東九州メディカルバレー構想推進会議

後　　　援　九州経済産業局・（国研）日本医療研究開発機構・立命館アジア太平洋大学・

（予　定）　日本文理大学・大分県立看護科学大学・宮崎大学・九州保健福祉大学・

旭化成メディカル(株)・メディキット(株)・(一社)大分県医師会・

(一社)大分県工業連合会・九州ヘルスケア産業推進協議会

　申込期限　 平成３１年２月５日（火）　※詳細は裏面をご覧下さい。

|  |
| --- |
| **プログラム** |

１．オープニング

　主催者 あいさつ 　大分県知事 広瀬 勝貞　　　大分大学学長　北野　正剛

　　 　来　賓 あいさつ　 九州経済産業局長　塩田　康一　様

　２．講演会

第１部 基調講演

　　　演題Ⅰ：「新生キヤノンメディカルシステムズの事業戦略　～画像診断システムの進化と今後の展開～」

講　師：キヤノンメディカルシステムズ株式会社　取締役専務　信太　泰雄　様

　　　演題Ⅱ：「経済産業省における医療機器・ヘルスケア産業政策について」

講　師：経済産業省　ヘルスケア産業課　医療・福祉機器産業室長　富原　早夏　様

　第２部 医療関連産業新規参入促進セミナー

演　題：「医療機器新規参入で当社が学んだ成功と失敗の要因」

講　師：株式会社スズキプレシオン　取締役会長　鈴木　庸介　様

３．交流会 （１８:００～１９:３０）

※交流会参加費は、１人３，０００円です。事前にお申込みの上、受付時にお支払い下さい。

(申込み・問合せ先)

大分県商工労働部新産業振興室 担当：渡辺、溝口

〒870-8501　大分県大分市大手町3-1-1　TEL 097-506-3269（直通）FAX 097-506-1753

　　　　e-mail：mizoguchi-takehiro@pref.oita.lg.jp

|  |
| --- |
| **講師紹介** |

第１部 基調講演

「新生キヤノンメディカルシステムズの事業戦略

～画像診断システムの進化と今後の展開～　」

講師：キヤノンメディカルシステムズ株式会社　取締役専務　信太　泰雄　様

昭和55年に（株）東芝に入社後、医用機器事業部にてX線CTの開発に従事。

国産発のマルチスライスCTの開発リーダを務める。その後CT開発部長、モダリティ技術担当

技師長、CT事業部長、生産調達センター長を歴任し、平成28年より現職。

現在はキヤノンメディカルシステムズ(株)に社名変更し、社長補佐として、開発、調達、生産、

品質部門の担当役員を務める。日本画像医療システム工業会（JIRA）副会長。

「経済産業省における医療機器・ヘルスケア産業政策について」

講師：経済産業省　ヘルスケア産業課　医療・福祉機器産業室長　富原　早夏　様

平成18年に東京大学大学院薬学系研究科を卒業後、経済産業省入省（経済産業政策局

経済産業政策課）、経済産業政策局産業人材政策参事官室係長、経済産業政策局産業再

生課係長、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課課長補佐、

ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院留学、通商政策局アジア大洋州課課長補佐、

経済産業省商務・サービスグループ ヘルスケア産業課総括補佐を歴任し、

平成30年7月より現職。

第２部 医療関連産業新規参入促進セミナー

「医療機器新規参入で当社が学んだ成功と失敗の要因」

　　講師：株式会社スズキプレシオン　取締役会長　鈴木　庸介　様

　　昭和45年に(有)鈴木精機に入社(のちに現社名に変更)後、平成3年に(株)スズキ

プレシオン代表取締役社長就任、代表取締役会長を経て、平成28年より現職。

チタン合金加工、微細部品加工等、優れた金属加工技術を武器に、一般産業分野から

平成17年に医療機器産業へ新規参入、インプラント部品供給、手術機器の開発で

医療機器関連を売上の柱に育て、更に自社医療機器部品加工用に開発した増速スピン

ドルの商品化にも成功、下請企業から自立したものづくり企業を築く。

【受賞歴】：経済産業省の元気なものづくり300社、栃木県の栃木県産業活力大賞

MEDTECイノベーション大賞期待賞、“超”ものづくり部品大賞日本力(にっぽんぶらんど)賞、

経済産業省 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞受賞、足銀ビジネスプラングランプリ

優秀賞、平成29年5月、春の叙勲にて経済産業省推薦・藍綬褒章を受章

|  |
| --- |
| **参加申込方法** |

参加希望の方は、下記様式に団体・企業名、参加者氏名、連絡先をご記入いただき、平成３１年２月５日（火）までにＦＡＸ又はメールにて下記の宛先までお申込み下さい。

（**ＦＡＸ ０９７-５０６-１７５３）or** （e-mail：[mizoguchi-takehiro@pref.oita.lg.jp](mailto:mizoguchi-takehiro@pref.oita.lg.jp)）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **大分県商工労働部新産業振興室　行き**平成　　年　　月　　日  **参加申込書（東九州メディカルバレー構想推進大会）**   |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 団体・企業名 |  | | | | | | 出 ・ 欠 | | | 講演会 | 交流会 | | 参加者 | 役職 |  | 氏名 | |  | |  |  | | 役職 |  | 氏名 | |  | |  |  | | 役職 |  | 氏名 | |  | |  |  | | 連絡先 | 担当者　所属・役職・氏名 | |  | | | | | | | 住所 | 〒 | | | | | | | | TEL |  | | FAX | |  | | |   ※　講演会･交流会の欄に、○印をご記入ください。このままFAXでお申込みください。送信表は不要です。 |